



Asianux Server 3 提供 RPMパッケージの セルフビルドに関する注意

2007年9月28日

ミラクル・リナックス株式会社

ご利用にあたって



(1) この文章では、Asianux Server 3に含まれるrpmパッケージを再コンパイルする際の注意点についてのみ記載しています。一般的なrpmのリビルドの方法については、rpmbuildコマンドのマニュアルページ、または一般的なrpm関連ドキュメントでご確認ください。

(2) 弊社ではお客様ご自身でrpmパッケージをカスタマイズされた場合にサポートを行えない場合がございます。また、製品付属のAsianux TSN Updaterは、お客様ご自身でrpmパッケージをカスタマイズされた場合に正常に動作しない場合がございます。詳しくはAsianux ServerサポートSLAやAsianux TSN Updater付属のドキュメントでご確認ください。



リビルドの条件

(1) 以下の設定をしないとビルドできないパッケージがあります。ビルドに失敗する場合は、これらを設定して再度実行してください。

```
export JAVA_HOME=/usr/lib/jvm/java
export PATH=/usr/lib/jvm/java/bin:$PATH
export LANG=C
```

(2) リビルドを実行する環境は、ディストリビューションに含まれるパッケージが全てインストールされていることを前提としています。

(3) リビルドを実行する環境は、(2)に加えて、リビルド用補間パッケージが全てインストールされていることを前提としています。

補間パッケージは以下のURLにてget可能です。

<http://ftp.miraclelinux.com/pub/Asianux/Server/3.0/Unsupported/extra/>

* 補間パッケージのうちlesstif-develパッケージはopenmotif-develパッケージと衝突するため、インストールしないでください。xpdfパッケージのリビルド時のみ使用します。

注意するパッケージ(1/3)



ここで挙げられたrpmパッケージについては、リビルドに特別なケアが必要です。

* drbd/fuse/heci/ipw3945 (x86版のみ)

これらはkernelドライバを含んでいるため、`--target i686`オプションをつけてビルドする必要があります。

* compat-gcc-296 (x86-64版のみ)

これはx86-64版が用意されていないためビルドできません。

* DBMA

標準の%setupスクリプトを使用していないため、specファイルを置く場所が限定されます。ソースコードはspecファイルから見て、`../SOURCES/`以下に置いてある必要があります。

* php

Oracleがインストールされたマシンでビルドする必要があります。Oracleがインストールされておらず、Oracle用のパッケージが不要な場合は、specファイルを修正してoci8サブパッケージを作成しないようにすることもできます。

* rpm

neon-devel パッケージを一時的にアンインストールしてビルドしてください。
ビルド後、neon-devel パッケージを再インストールします。

注意するパッケージ(2/3)



* gphoto2 (x86-64版のみ)

ライブラリlibltdl.so.3.1.4の32ビット版にリンクしようとしてビルドに失敗します。
一時的にこのライブラリを64ビット版のものと入れ替えます。

```
# cd /usr/lib
# mv libltdl.so.3.1.4 libltdl.so.3.1.4-32
# ln -s ../lib64/libltdl.so.3.1.4 .
ビルド終了後は、以下のように元に戻します。
# cd /usr/lib
# rm libltdl.so.3.1.4
# mv libltdl.so.3.1.4-32 libltdl.so.3.1.4
```

* fontconfig (x86-64版のみ)

ライブラリlibexpat.so.0.5.0の32ビット版にリンクしようとしてビルドに失敗します。
一時的にこのライブラリを64ビット版のものと入れ替えます。

```
# cd /lib
# mv libltdl.so.3.1.4 libexpat.so.0.5.0-32
# ln -s ../lib64/libexpat.so.0.5.0 .
ビルド終了後は、以下のように元に戻します。
# cd /lib
# rm libexpat.so.0.5.0
# mv libexpat.so.0.5.0-32 libexpat.so.0.5.0
```

注意するパッケージ(3/3)



* apr-utils (x86-64版のみ)

ライブラリlibexpat.so.0.5.0の32ビット版にリンクしようとしてビルドに失敗します。
一時的にこのライブラリを64ビット版のものと入れ替えます。

```
# cd /lib
```

```
# mv libltdl.so.3.1.4 libexpat.so.0.5.0-32
```

```
# ln -s ../lib64/libexpat.so.0.5.0 .
```

ビルド終了後は、以下のように元に戻します。

```
# cd /lib
```

```
# rm libexpat.so.0.5.0
```

```
# mv libexpat.so.0.5.0-32 libexpat.so.0.5.0
```

* xpdf

lesstiff-develをビルド時に要求します。そのためopenmotif-develを一時的にアンインストールし、ビルドを行います。ビルド後は元に戻すことができます。